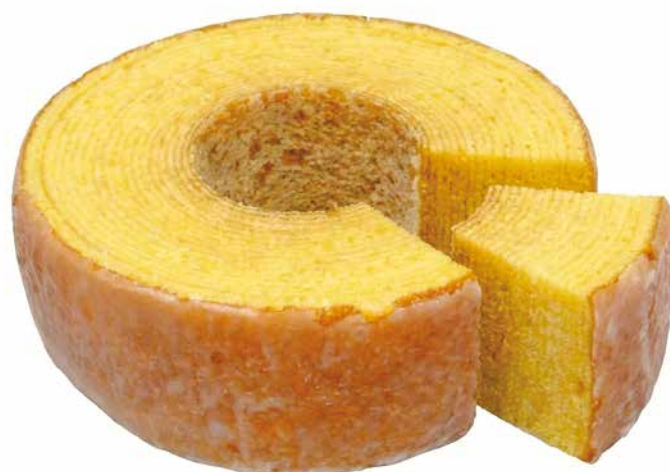


WATOWA

誰もが笑顔で輝く社会を創造します



Café WATOWA

女性も活躍できる
働きやすい職場環境を目指して
～7人の女性所長によるWeb茶話会～

特集

イベント報告

笑顔の和・地域の輪

つれづれ福祉 ザワメキアート展 2025

Curate the curation

表現とキュレーションを再構築する

PICKUP 職員

事業団広報活動記

表紙紹介 ほっとジョイブの取組み

スマホで読み取り!



長野県社会福祉事業団
ホームページ



小倉 直和 仲田



信濃学園 藤原



ほつと上伊那 三澤



伊那ないまへる 有賀



ほつとジョイイ落合

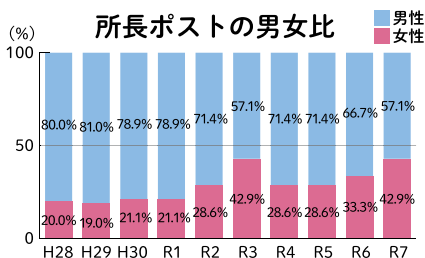


ほつとあ 増田

オンラインにて「Café WATOWA」開店



Café WATOWA (和と輪)
長野県社会福祉事業団の関係者が集い、ゆったりと対話するコーナーです。



サンアプル 佐藤



女性管理職としての 率直な感想

有賀 「女性活躍推進法」という法律があつて、「女性管理職比率の公表」や「行動計画(目標)の策定」が義務化されているのですが、事業団の女性管理職比率は現在39・4%で世間一般的には高めだと思うし、所長ポストに限っては42・9%で、ここ10年で2倍以上増えています。皆さんから率直な感想を聞かせてください。

落合 正直、私は「女性管理職」という認識を特別に持っている訳ではなくて、逆に男女関係なく「それなりにちよつといい事業所にしたい」って思つて、色んなことを考える暇もなく、管理職として日々過ぎて行っている感じがな。

藤原 そうだね。女性、男性に関わらず「所長の役割をきちんと担っている」とか、「きちんと部下を見てくれている」とかの点を評価してもらえればと思うよね。

増田 私は所長になると思つてなかつたので、常に疑問や不安をもって仕事をしています。以前、利用者には「男(の所長)じゃないの?」って思われていたけど、異動する時には温かい言葉を貰えて良かったなと思ってます。

三澤 私とも思ひもよらない人事で所長になって、孤独感とか不安な気持ちでいっぱいだったけど、女性の所長が多いことで、同性同士で話(愚痴)を言い合えるのはいいかなと思っています。

有賀 令和6年4月に就業規則と給与規則が大きく改正されて、男女問わず子育てしやすくて、働きやすい環境に整備されましたが、これまでの働き方を振り返ってみてどうでしょうか。



これまでの働き方を 振り返って





仲田 瞳

小春日和所長
平成 13 年入職

主な勤務地：八雲日和／本部事務局／水内荘／小春日和
趣味・好きなこと：読書(マンガも大好き)

藤原 香澄

信濃学園所長
昭和 63 年入職

主な勤務地：水内荘／西駒郷／きらりあ／信濃学園
趣味・好きなこと：陶芸



三澤 淳子

ほっと上伊那所長
平成 3 年入職

主な勤務地：西駒郷／ほっとジョイブ／ほっと上伊那
趣味・好きなこと：クラフトフェスなどに小旅行気分で行ける／キャラクター集め(Suicaペンギンの卒業のニュースは観望でした！)

有賀美希恵

本日のマスター

伊那ゆいま～る所長
平成 2 年入職

主な勤務地：西駒郷／本部事務局／水内荘／きらりあ／伊那ゆいま～る
趣味・好きなこと：K-POP (ENHYPEN)、御朱印集め



落合 尚子

ほっとジョイブ所長
平成 7 年入職

主な勤務地：西駒郷／ほっと上伊那／ほっとジョイブ
趣味・好きなこと：ジムカーナ(車のレースの一種) 参戦と猫を愛でることと古道具店巡り

増田佳奈恵

きらりあ所長
平成 5 年入職

主な勤務地：西駒郷／ほっと上伊那／八雲日和／辰野町就労・地活／きらりあ
趣味・好きなこと：ジャム作り、フライパンを使ったおやつ作り



佐藤 ゆり子

サンアップル所長
昭和 62 年入職

主な勤務地：西駒郷／水内荘／本部事務局／みのちGH／サンアップル
趣味・好きなこと：舞台鑑賞(劇団四季など)、映画鑑賞

佐藤 育休後は戻って2日目ですが、夜勤だったように思いますが、それが当たり前だと思っていました。でも子どもが保育園で発熱した等の連絡があった時に「いいよ、早く行ってやりな」と言ってくれる職場だったのでありがたかったです。

藤原 確かに当時、制度はあまり整っていなかったかもしれないけど、子どもが小さいときは共働きを考慮してシフトを組んで貰えたりして、助かりました。

三澤 事業団はいろいろな制度が確立されてきて、本当に働きやすいい職場だと思います。

増田 まずは、自分の健康を第一に仕事を続けていってもらいたいです。何をするにも体が元

有賀 今の話にも繋がりますが、職員が仕事と家庭を両立しながら、安心して働ける環境を整えていくために思っていることがあれば。

<現在の主な福利厚生制度>

- ・育児休業 3 年取得可能
- ・出産等祝金制度
- ・保養休暇(夏季 3 日を含む年間 5 日)
- ・リフレッシュ休暇(勤続 1、3、5、10 年の節目で休暇と助成金支給)
- ・子の看護休暇やその子の入園(入学)式、卒園(卒業)式への参加休暇 など

仲田 私も頼れる祖父母が近くにいなかったたので、子どもが未就学の頃は本当に大変でした。だから「ダメなら辞めればいいのか」位の気持ちでしたが、今も仕事を続けられているのは周りの人間関係に恵まれていたことが大きいんです。上司や先輩、同僚の皆さんは福祉の仕事をしているだけあって、優しい方が多いと思います。

落合 これまで多くの女性達が結婚や出産、パートナーの異動や転職に同行して辞めていくのを複雑な気持ちで見送ってきた。私自身には上昇志向は正直、ありませんでしたが、「自分のやりたいと思った仕事を頑張ろう」と思っていたら、今ここにいてよかった感じがします。そして多分、事業団は女性にとって働きやすい職場だと思います。

佐藤 そうですね。制度を権利として行使できるのは、その分を誰かが支えてくれるから。「制度があるんだから使ってる」ではなく「制度は使わせてもらうけど、支えてくれる皆さん、ありがとう」の感謝の気持ちとはとても大事だと思います。

有賀 私自身、取引先に行ったり、様々な会議に参加する時もそうだし、家庭や地域でも「女性だから」って言われることがありますが、まだ「女性が働きやすい社会」とは言えないのかなと感じています。仕事優先で子どもにも迷惑をかけてしまったかもしれないけど、最近「働く母を誇りに思う」「やりたいことをしている姿が手本になる。」と言って貰えるようになりました。



今後の世代に期待すること

仲田 私の理想は「働いている私たち職員が、やりがいや楽しさを感じられる事業所にしたい」ということです。常に人手不足だったり仕事量が多かったり煩雑なことが多く疲弊や不満ばかりになってしまいがちですが、利用者さんが笑顔でいるた

めには私たち職員が笑顔でいることは必須なので、前向きな考え方ができる職員、事業所、法人でありたいと願っています。

笑顔の和・地域の輪

1 水内荘

みのちまつりでは毎年、外部から「和太鼓の雅」、「ずらんソフクリーム」のキッチンカーを呼んで利用者やご家族の方達と一緒に楽しい時間を過ごしています。

また今年は、松本の楽団ヶセラを呼んで皆さんで演奏を楽しみました。

コロナ以降、泉水まつりのような大規模なイベントはできていませんが、少しずつ近づけていけるように毎年がんばっています。
(久米田)



2 八雲日和

今年の八雲縁日は歩楽里との共同開催となり、「八雲・歩楽里縁日」として内容をさらに充実させて実施しました。

オープニングでは歩楽里の利用者が

自作のみ

こしを担いで登場し、和太

鼓の演奏が会場を

一気に盛り上げま

した。名

物の八雲うどんやおやきは今年も完売し、「焼肉もんも」の店も大人気でした。

また、バルーンアートの「まっぴん」による色とりどりの作品は、会場の雰囲気

さらに華やかにしてくれました。地域住民や利用者、ご家族に加え、例年より多くの子どもたちが参加し、笑顔と交

流が広がる温かい一日となりました。
(西郷)



3 小春日和

小春日和では、心地良い音楽の力を借りながら地域の方々が気軽に足を運んでもらえる『縁側』のような施設になることを

目指して毎年イベントをおこなっています。夏は

音楽とビア

ガーデンを合体させた『ANN

BYOR』。近隣の方々をはじめ

利用者やご家族、職員やその家族も参加し、毎回大盛況

のイベントです。



素敵な

音楽を奏

でてくだ

さるアル

モジャズ

の皆さん

とは、開

所当初か

ら15年の

お付き合いになりま

す。ヴォーカルは皆さんの優しく温かい歌声とイケおじ軍団のカッコイイ演奏に癒されること間違いなし！今年の『JAZZ BYOR』は東京から

コーラスグループが友情出演で駆けつけてくれ、重厚感のある素晴らしいステージとなりました。
(仲田)

4 長野県障がい者福祉センター

納涼祭

サンアップル夏の最大イベント「納涼祭」が、今年で20回目の節目を迎えました。障がいの有無にかかわらず誰もが楽しめる交流の場として、毎年職員が知恵を絞って企画しています。今年は数年ぶりに本来の規模で開催。近隣施設や地域の店舗による出店があり、たくさんの方々の来場者でにぎわいました。久しぶりに戻ってきたお祭りの喧騒の中、あちこちで再会を喜ぶ声や笑顔が見られ、地域との大



切な絆を再確認する一日となりました。

第28回

長野県障がい者文化芸術祭



県内の障がい者による作品展「長野県障がい者文化芸術祭」が開催されました。作品の豊かな感性に触れてもらうことで障がいへの理解を深め、芸術活動の振興と社会参加を図ることが目的です。県内最大規模を誇る作品展には、6部門から計570点の力作が出品され、2日間で開催されました。一つひとつの作品とじっくり向き合う姿が見られ、積み重ねてきた歴史の重みを感じる貴重な機会となりました。
(河原崎)

5 長野県松本あさひ学園

松本あさひ学園の一大イベント「ほほえみ祭」が開催されました。いわゆる学園祭とか文化祭といわれるものです。児童数は少ないものの各児童がやりたいことを提案し、時間が限られる中、職員も一緒になって練習に取り組みました。当日は歌やダンス、バンド、劇、そしてあさひ学園と言えば「あさひ太鼓」、児童の保護者や分校の先生方の前で「今できる精一杯」を披露することができました。



6 長野県信濃学園

10月25日「ハロウィン」食べて動いて秋の恵みを楽しもう」をテーマに、のびろ祭が開催されました。今年度は、昨年度より規模を少

午後は4種類のパラスポーツを楽しみました。また、ひだまりの会によるお楽しみコーナーや福祉ネイル体験、ラーメンずんぱちによるキッチンカーや、パンやおやきの販売などがさらに祭りを盛り上げ、皆さん楽しい一日を過ごしました。



が繰り広げられ、迫力あるそれぞれのパフォーマンスに会場が魅了されました。

し拡大し、保護者、地域や一般の方々をお迎えしての開催となりました。



7 ほっとジョイブ

10月11日(土)に今年もほっとマルシェが開催されました。今年は初めての屋内での開催となり、準備段階から係員中心にアイデアを出し合い、より多くの方に楽しんでもいただけるよう工夫を凝らしました。

こむぎ工房ではオリジナルコッペパンとミニパンの盛り放題企画、生活介護ではオリジナルTシャツとトートバッグの販売を行いました。ステージイベントでは太鼓演奏、キッチンダンスの出演、子どもたちにも楽しんでもらえるようにゲームコーナーも設けました。



保護者や地域の方にも大勢ご来場いただき、ほっとジョイブを知ってもらい、互いに繋がりを感じられる良い機会となりました。

8 長野県西駒郷

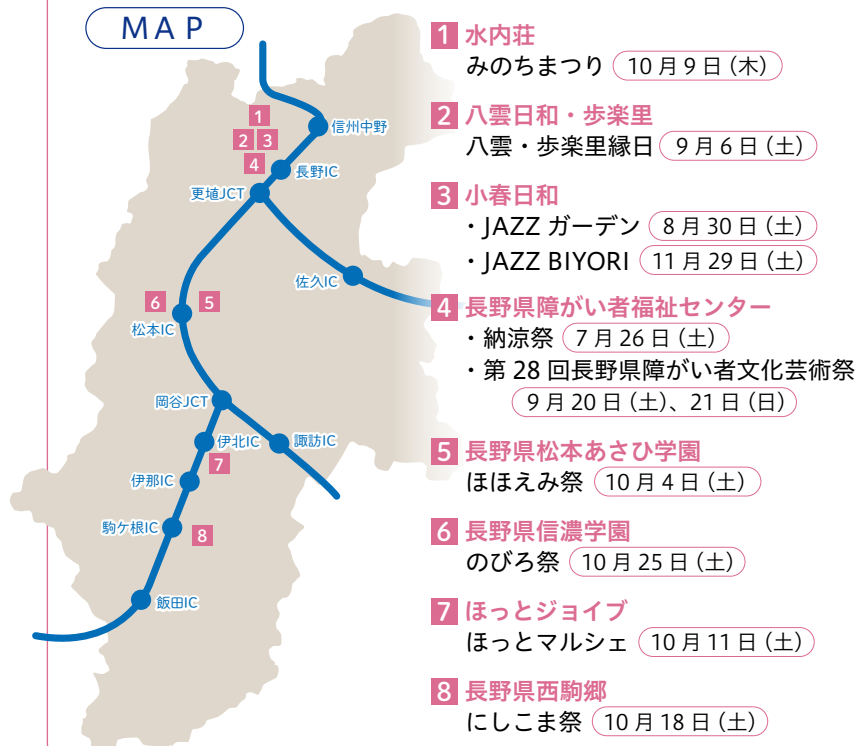
今年で20回目を迎えた「にしこま祭」。外部からの来場者を制限しないコロナ禍前の体制で開催しました。今年は晴天となり多くの来場者がありました。

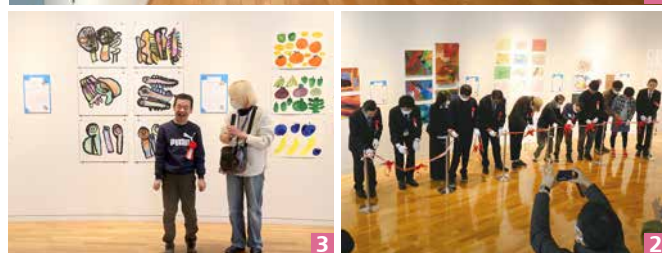
まず模擬店では新しいお店が加わり、充実した内容でした。ステージのアトラクションでは「殺陣ちいむバチボコ」

のチャネルに利用者も参加し、とても盛り上がりがありました。また「福祉ネイル」、「家族写真」という新しい企画もあり、これまでとはまた一味異なるイベントとなりました。



MAP

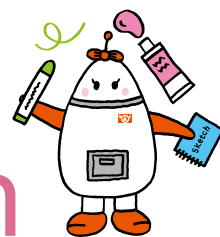




1. 小海町高原美術館会場 2. オープニングセレモニー 3. 出展者 北原裕之さん(西駒郷利用)と支援者 撮影:KAZU 4. ワークショップ「ピー玉・木の実でコロコロアート」 5. ザワメきっずプロジェクト会場 6. キュレーターによるギャラリーツアー

ザワメキアート展 2025

Curate the curation 表現とキュレーションを再構築する



つれづれ福祉

徒然なるままに…他の法人等とのネットワークの中から見える「福祉」を、そこはかとなく書き綴ります。

Exhibition 1

小海町高原美術館

2025.11/29 sat - 12/22 mon <終了>

Exhibition 2

中野市一本木公園展示館

中野小学校旧校舎・信州中野銅石版画ミュージアム

2026.1/17 sat - 2/8 sun

9:30 - 16:00 (入館 15:30 まで)

休館 2026.1/20, 1/27, 2/3

〒383-0012 長野県中野市一本木495-6



WEB 展開催中!!

<https://zawameki-art.com>



◆ザワメキアート展とは？
よくわからないが、なんだかすごい。ユニークで笑ってしまうような不思議な魅力がある。障がいのある方が生み出す個性的な作品を、長野県では、「ザワメキアート」と名付けて、平成28年度から県内各地で紹介しています。

今年度のザワメキアート展は小海町高原美術館の学芸員お2人をキュレーターにお迎えし、長野県内から13人の「ザワメキ」作品を選んでいただきました。
今回は、「Curate the curation 表現とキュレーションを再構築する」がテーマ。本展キュレーターが、ザワメキアーティストの表現を「あの人」が観たらどう感じるだろう？ きっと、思ってもみ

ないことを感じるのでは？」と13人のキュレーターを選定(キュレイト)し、ザワメキアーティストの表現への思いを執筆していただきました。
おかげさまで「小海町高原美術館」は、盛況のうちに終了し、2会場目の「中野市一本木公園展示館」は2月8日(日)まで開催します。ぜひ、会場にお越しください。(持田)

水内荘

主任栄養士 兼
主任支援員

湯本美智子さん

ON

どんな仕事をしていますか？
やりがいは何ですか？

委託給食会社と連携をしながら、より良い給食が出せるようにしています。また利用者の栄養目標量が適正かどうかを血液データ・体重・ADLの変化等で確認をしています。

特に力を入れているのは、皆さんが好きな「食べる」をより楽しくするために、月に1、2回は「みのちカフェ」「みのち菓子店」「キッチンカー」「パフォーマンス付ごはん」などの企画を実施しています。食べるだけじゃない、雰囲気を楽しむ、料理ができる様子も五感で感じられる食事（おやつ）の時間を提供できるように努めています。



利用者からは、「今度〇〇やってよ！」などのリクエストも。実現までの準備はとても大変ですが、そんな声を聞くと頑張れちゃいます！皆さんも良ければ参加してみてくださいね！

仕事中に“アガル↑”アイテムは？

昼食に食べる「麺」です！水内荘の献立は、火曜日が「麺の日」なので、温かいもしくは冷たい麺を食べられるのはアガりますね！



OFF

休日の過ごし方は？
おすすめの気分転換は何ですか？

天気が良ければ、友人を誘って温泉に行くことです。多い時は3週連続行ったことも。目的地までの道中にいくつかのポイントを寄るツアーのように予定を組んで友人をアテンドするという感じです。ちょっとした日帰り旅行なので、あそこに寄ってみようかな？と調べて計画をたてるため、当日を楽しみに仕事を頑張っています！



休日に“アガル↑”アイテムは？

温泉によく行くので、温泉まんじゅうはマスト！ほかにも美味しいごはんやスイーツです！

長野県西駒郷

支援員 福澤 高寛さん

ON

どんな仕事をしていますか？
やりがいは何ですか？

精神・知的・身体、様々な障がいを持つ方が暮らす寮で、身体介助、言語・非言語コミュニケーションを用いた支援を行っています。変則勤務の中で利用者に最善の支援ができるよう、「統一した支援」を目標に日々奮闘しています。

高齢化が進む中、日々支援に難しさを感じますが、利用者が楽しそうにしている姿、クスッと笑わせてくれる利用者とのやり取りが、仕事のやりがいになっています。

西駒郷ひまわり支援課、松本あさひ学園、伊那ゆいま〜ると異動し一度退職、再雇用していただき現在に至りますが、どの施設でも利用者に寄り添う姿勢を大切にしています。

仕事中に“アガル↑”アイテムは？

ズバリ「給食」です。日ごろ家では食べないようなメニューが出てきて嬉しいです。自分の勤務日の食事はまず確認します。利用者と他愛もない話しをしながら食べるのも一つの楽しみです。



OFF

休日の過ごし方は？
おすすめの気分転換は何ですか？

平日はサウナに行き、日ごろの疲れを癒しています。体が最高に熱くなってきた時に水風呂に入り、外気浴をすることで全疲労が吹っ飛んでいく感じがしています。サウナ後のご飯は何倍にも美味しく、至福のひとつです。その後は保育園に通う娘の迎えに行き、娘の「どっか行くか」で市内をデートしています。一通り終わり、家で晩酌をするのも楽しみのひとつです。



土日は家族で公園や外食に行き、のんびり楽しんでいます。

休日に“アガル↑”アイテムは？

「音楽」です。最近は娘のアンパンマンの歌に押され気味ですが、自分の好きな曲を聞くことが日々のモチベーション UP に繋がっています。

事業団広報活動記

動画制作取材について

令和7年度の広報活動の目玉として、当事業団の理念や日々の取り組み、そして福祉の仕事の魅力を広くお伝えするため、「職種／事業所紹介動画」作成のための撮影を行いました。

動画のコンセプトは、経営理念にもある“笑顔”でつながる利用者と職員の様子を、「温かみのある優しい雰囲気」で表現することでした。

撮影は天候にも恵まれ、県内に点在する複数の事業所を巡り、就労支援や食事支援、生活支援等のリアル(?)な業務風景を撮ることがで



きました。

撮影現場では、和やかな雰囲気を通し、利用者と職員皆さまの自然な笑顔を引き出すことを心がけました。また、今回の撮影取材では、各事業所の皆さまに日程調整や、撮影内容の相談、そして個人情報やプライバシーに関する配慮等、多大なるご協力をいただきました。この動画が、福祉業界を目指す方々の選択肢の1つとなることを願っています。(三浦)



え、12月には前年度を上回るなど、勢いを取り戻しつつあります。SNSについては今後も定期的にページを更新すると同時に、新商品の開発にも取り組み、ふるさと納税枠をより確かな販路にしていきたいと思っています。

こむぎ工房の主力商品の一つにバウムクーヘンがあります。このおいしさを大勢の人に知ってもらい、販路を広げられないかと考え、令和4年度から南箕輪村のふるさと納税品として登録。初出荷は同年9月のレモンバウムクーヘン1個。これを皮切りに、令和4年度は6万3千円の売り上げを記録。令和5年度には16万円を超えました。本年度はブリュレをラインナップに加え、



ほっとジョイブでは個性が輝ける場所、そして地域との繋がりを意識した取り組みに力を入れています。ここではいくつかの取り組みについてご紹介したいと思います。

表紙写真紹介

cover photo

地域との繋がり

とフードロス削減へ繋がる取り組みとして、子ども食堂へのパンの寄付を行っています。現在はこむぎ工房で廃棄予定となったパンを月1度寄付しています。生活介護では自主製品への新たな取り組みとして、誰もが携わり、個性が輝ける商品とは何かを皆で話し合い、利用者が描いた絵をトートバッグやTシャツにして販売。利用者が描く誰にも真似できない独特な世界観と色彩に関心を持っていただき、多くの方に購入してもらっています。今後も様々な取り組みを行い、人々との繋がりを大切にしながら、地域との架け橋となる「ほっ」と一息つける場所を目指していきたいと思っています。(小林)



編集後記

今年度は広報誌WATOWA、社内誌WACCOに続いて、10月にホームページもリニューアルしました。ホームページの取材では、恥ずかしながら初めて行く事業所もあり、私自身貴重な体験ができました。取材にご協力いただいた各事業所の皆様、本当にありがとうございます！来年度も皆さんに楽しんでいただける内容になるよう頑張りますので、引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。(吉澤)



社会福祉法人
長野県社会福祉事業団

〒381-0034 長野県長野市大字高田 364 番地 1
TEL 026-228-0337 FAX 026-228-0310
URL <https://nagano-swc.com/>